

化学物質の排出抑制

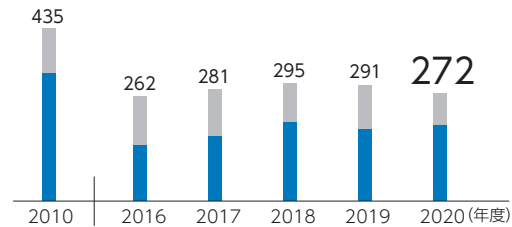
データ範囲:UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社(注)

化学工業界は法規制を遵守するだけでなくPRTR法*1に基づく情報公開制度などを活用し、自主的な化学物質の排出抑制を進めています。UBEグループでは、PRTR法対象物質や揮発性有機化合物(VOC)*2などの中から、排出量の多い20種類の化学物質*3を全社の重点物質とし、その総排出量の削減目標を「2021年度に2010年度比37%削減」と設定して、排出量削減を進めています。

2020年度は、この20化学物質の総排出量を29%削減(2010年度比)することで、PRTR法対象物質やVOCの排出抑制を推進しました。

PRTR法対象物質排出量

■ 水域への排出
■ 大気への排出
(t/y)



https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2021/integrated_report_environmental_safety_4.pdf

PRTR個別物質

PRTR法対象物質のうち、排出量上位10物質について、排出量、移動量などのデータを「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP6に掲載しています。



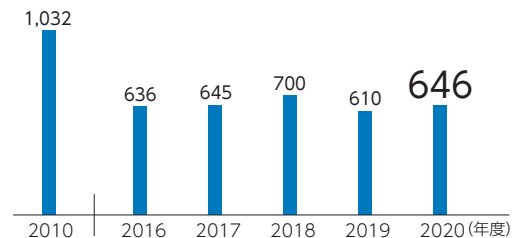
PRTR法対象物質の排出抑制

UBEグループではPRTR法対象の462物質のうち、66物質を取り扱っています(2020年度)。これらの排出量を2010年度比で37%削減しました。

VOC排出の抑制

UBEグループは2020年度のVOC排出量を2010年度比で37%削減しました。

VOC排出量
(t/y)



産業廃棄物の削減

データ範囲:UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社(注)

国の第4次循環型社会形成推進基本計画では、産業廃棄物の最終処分量について、「2025年度に2000年度から約77%減」としています。UBEグループは、循環型社会の形成に向けた取り組みとして、外部最終処分量の削減目標を「2021年度に2000年度比83%削減」と設定し、産業廃棄物のリサイクルや最終処分量の削減を推進しています。

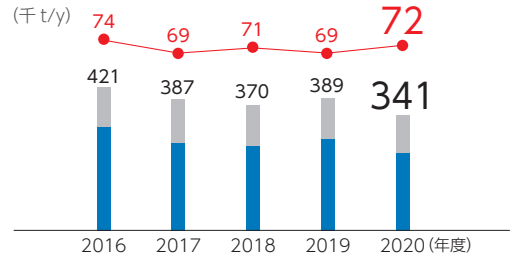
産業廃棄物のリサイクル

化学工場、自家発電所、機械工場などから多様な産業廃棄物が発生しますが、それらの多くを、セメント工場をはじめとするUBEグループ内でリサイクルしています。

産業廃棄物のリサイクル量

■ グループ会社
■ UBE
(千t/y)

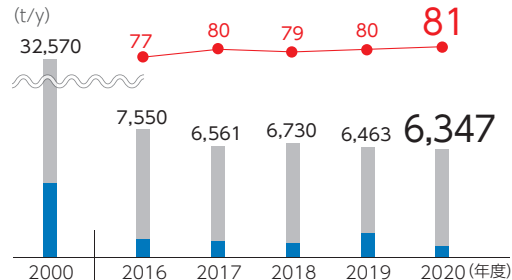
● 廃棄物リサイクル率 (%)



産業廃棄物の外部最終処分量

■ グループ会社
■ UBE
(t/y)

● 廃棄物削減比率 (%)



https://www.ube-ind.co.jp/ube/jp/ir/ir_library/integrated_report/pdf/2021/integrated_report_environmental_safety_4.pdf

産業廃棄物の処理フロー
2020年度の産業廃棄物の発生量、リサイクル量、減量化量などについては、「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP6に掲載しています。



用語解説

*1 PRTR(Pollutant Release and Transfer Register)法:P60の用語解説を参照。

*2 VOC(Volatile Organic Compounds):揮発性を有し、大気中で気体となる有機化合物の総称。浮遊粒子状物質および光化学オキシダントの生成原因となる。

*3 自主選定した20種類の化学物質:「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP2を参照。

(注)データ範囲の詳細は「統合報告書2021資料編(環境安全)」のP10に掲載。